

< 部会・WG等における意見等 >

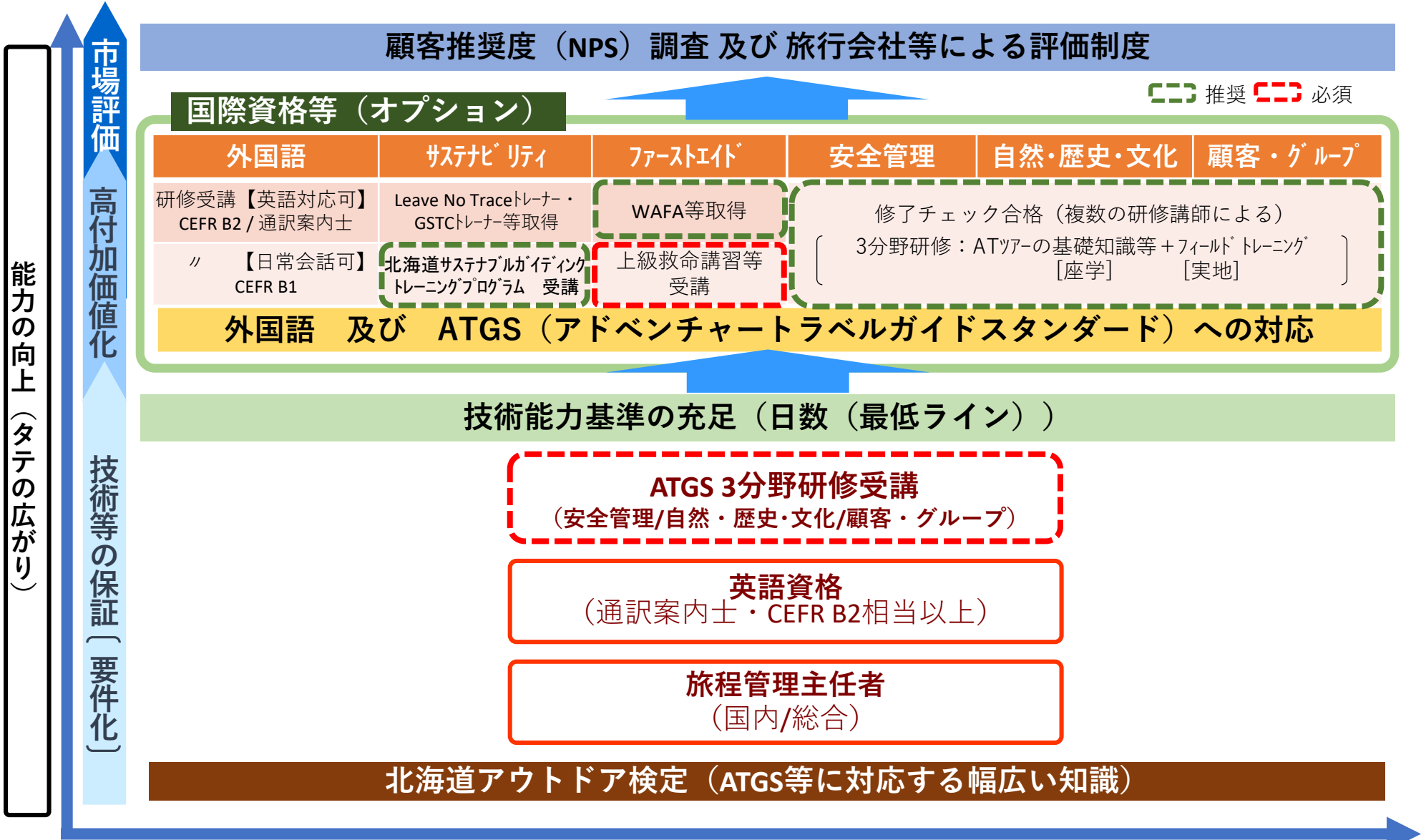
- ・道アウトドア検定取得に抵抗感（時間・費用）
- ・技術能力基準や有効期間は、アクティビティガイドの検討を参考
- ・外国語（英語）コミュニケーション力の検討

< 提言（部会案） >

- ⇒ 道アウトドア検定を要件に。併せて、理解促進の取組継続
- ⇒ 直近2年間のガイド従事日数 ※救済措置あり
有効期間3年
- ⇒ 通訳案内士 又は CEFR B2以上 を要件化
※ 旧来のTOEIC Listening & Readingの取扱いは、対象外として整理

スルーガイド

定義	アドベンチャートラベルについての十分な理解と北海道（地域）に関する多様な情報を持ち、自身もツアーに参加しつつ、顧客管理を担い、ツアー参加者とアクティビティガイドを含めた地域関係者及び旅行会社等との橋渡しを行うコーディネーター		
資質	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道に関する幅広い知識 ・柔軟な行程管理を行うための技術 ・英語圏の参加者への通訳技術 ・アクティビティガイドとの関係構築及び活動をサポートする知識・技術 		
要件	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道アウトドア検定合格（有効期限内（3年）、道アウトドアガイド資格の保有者は免除） ・旅程管理主任者資格（国内／総合） ・全国（北海道）通訳案内士またはCEFR B2相当以上（※別表参照）の英語資格 ※ TOEIC Listening & Readingスコア（旧来のマーキング方式テスト）のみの取扱いは対象外 ・安全管理や自然・歴史・文化、顧客グループ管理に関する講習受講 ・技術能力基準（最低ライン）の充足 ※ 対象期間については、当面3年間は2018年1月～2019年12月を対象とすることを可とする。 		
	海外旅行添乗員 (インバウンド含む)	ツアー従事日数 100日以上（直近2年間）	通訳案内士 観光協会等が 100日以上（直近2年間）
有効期間	3年		



<スルーガイド・アクティビティガイド等の名称について>
 ○ 観光庁による海外調査結果及びWG有識者等からの意見、ヒアリング結果等から次のとおり整理

アドベンチャートラベルガイド（ATGS定義：アクティビティガイド及びスルーガイド両方の業務を担う）		
	アクティビティガイド	スルーガイド
定義	アドベンチャートラベルについて十分理解し、それぞれのアクティビティに対する高い技術及び専門性を併せ持ち、アドベンチャートラベラーからの要求に対応できるガイド	アドベンチャートラベルについての十分な理解と北海道（地域）に関する多様な情報を持ち、自身もツアーに参加しつつ、顧客管理を担い、ツアー参加者とアクティビティガイドを含めた地域関係者及旅行会社等との橋渡しを行うコーディネーター

観光庁公表資料「アドベンチャーツーリズムナレッジ集別冊 海外調査結果」にて、スイスとニュージーランドのアドベンチャーツーリズムでのガイド種類について、以下の記述あり
 「旅行者の体験価値を最大化させ、快適・安全な旅行をサポートする役割をスルーガイド（トラベルコンシェルジュ）とアクティビティガイドが担います。」

根拠	スイス					ニュージーランド				
	ガイドの種類	主な役割・概要	資格要否	起用される場面	主な雇用形態	ガイドの種類	主な役割・概要	保有資格例	起用される場面	配置比率
	スルーガイド (トラベル コンシェルジュ)	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール管理も含め、旅行者の旅行内での全般的な世話を担う 訪れるエリアを熟知しており、適切なアドバイスを行う 	特になし	主に北米の富裕層のツアー旅行時	フリーランス	スルーガイド (トラベルコン シェルジュ)	<ul style="list-style-type: none"> 旅行全日程にて、全般的なサポートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許 	高価格帯ツアー（非英語圏からの中高年層の旅行者に多い傾向）	ガイドと旅行者の人数比率は事業者が独自に決定
	アクティビティ ガイド	<ul style="list-style-type: none"> 安全なアクティビティ体験ができるようサポートを行う スキル指導や知識共有も旅行者に合わせて行う 	アクティビティ毎に定められたスイスの法律に基づく資格	あらゆるアクティビティ実施時	<ul style="list-style-type: none"> フリーランス フルタイム（オールシーズン雇用） パートタイム（期間雇用） 	① 担当アクティビティのガイド ・安全なアクティビティ体験ができるようにサポート ・旅行者に合わせてスキル指導や知識の共有 ② 他アクティビティ体験時のサポート ・ツアー内に担当外のアクティビティや体験等が組み込まれる場合に、行程に付き添い移動や時間管理等のサポートを実施 ・担当外アクティビティ実施時は待機	<ul style="list-style-type: none"> Pre-Hospital Emergency Care(※) アクティビティ資格 運転免許 	あらゆるアクティビティ実施時	<ul style="list-style-type: none"> ガイドと旅行者の人数比率は事業者が独自に決定 ガイドの経験等によって臨機応変に対応 【人数比率例】 (旅行者:ガイド) ・カヤック 9:1 ・サイクリング 8:1	

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/content/001472239.pdf> P70、P120抜粋

4 国際基準への対応について（外国語（英語コミュニケーション力））

<提言（部会案）>

- スルーガイドについては、通訳案内士 又は CEFR B2以上 を要件化
- アクティビティガイドについては、専門的な英単語や緊急時対応等を身につける研修を実施
 - ・ 既存の英語能力資格・試験を活用してガイドの英語レベルを区分した上で、研修を実施
 - ・ 「英語対応可能」レベル（通訳等可能）と「日常会話可能」レベル（簡易な応答可能）の2区分を設定
このうち「日常会話可能」レベル（CEFR B1以上）をアクティビティガイドに推奨
- 語学資格の有効期限については、定期的に語学を使っていれば能力は落ちないため更新不要で、資格取得後の実務経験がより重要との意見 → このため、語学力証明のための資格再取得は求めないが、アクティビティガイドについて、研修受講（前述）による英語能力の確認を推奨

<各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省／平成30年3月公表資料より）>

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) C2 Proficiency			9.0 8.5				
C1	199 180 (190) C1 Advanced	3299 2600 (3299) 各級CEFR 算出範囲	1400 1350 (1400) 各試験CEFR 算出範囲	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170) B2 First for Schools	2599 2300 (2599) 準1級	1349 1190 (1280) CBT	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150) B1 Preliminary for Schools	2299 1950 (2299) 準2級	1189 960 (1080) CBT	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120) A2 Key for Schools	1949 1700 (1949) 準3級	959 690 (840) Core Basic Advanced		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100) 各試験CEFR 算出範囲	1699 1400 (1699) 3級	689 270 (270)					620 320

CEFR: Common European Framework of Reference for Languages（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）

欧州評議会で開発された、外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられる指標。その言語を使って「具体的に何ができるか」という形で言語力を6段階で表す。

英語対応可能レベル（B2以上）

⇒スルーガイドに求めるレベル【要件】
（研修の受講は可とする）

日常会話可能レベル（B1）

⇒アクティビティガイドに求める
レベル（研修受講を推奨）

※TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する